



館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 7 月 25 日 (木)

発行 館長 加藤 智一

創造は過去と現在とを材料としながら
新しい未来を発明する能力です。
与謝野晶子

7月20日(土)朝日新聞 be on Saturday にこんな記事が掲載されていました。

「はじまりを歩く レトルトカレー」というタイトルで、大塚食品が開発した「ボンカレー」について。

湯煎で3分、出来上がり。誰でも失敗しないカレーを理念に掲げた、世界初の市販用レトルトカレー「ボンカレー」は1968年に産声をあげました。主に医薬品を扱っていた大塚グループは64年、関西でカレーを製造販売していた会社の経営を引き継ぎ、社員が見かけた米国の包装資材の専門誌にあった、真空パックのソーセージの写真をヒントに、大塚グループが持っていた点滴液を高温処理で滅菌する技術を応用し、保存のきく袋詰めのカレーを考案したのだそうです。68年に発売された最初の商品は、袋が2層構造でしたが、半透明だったので光を通し、味を損ないやすく、長距離輸送で袋が痛む恐れがあったため、主に大阪、神戸で販売されました。翌69年にアルミを使った3層構造の袋(パウチ)を開発。光と酸素を遮断し衝撃にも強くなり、2~3か月だった賞味期限も2年に延びたことから全国展開していくことになりました。

医療用に開発された技術を社員の発想力をきっかけに、異業種で成功するまでに成長させた柔軟な経営体質にも感心しますが、長年培ってきた技術の将来性に気づき発展させた社員の皆様にも頭が下がります。

今日の日本の技術者に求められている力は、もちろんそれぞれの分野において基礎力は大事です。しかし、それ以上に従来の考えに縛られない発想力の進化が求められているように思います。

それでは、発想力のある人にはどんな特徴があるのでしょうか。私思うに、まず発想力がある人は、物事を多角的に捉えることができる人だと思います。しかもそれだけでなく、好奇心に溢れさまざまな分野、物事に興味を持つ傾向があり、積極的に情報を収集し、新しい考え方を自分なりに咀嚼して吸収できる人なのだと思います。

私も還暦を過ぎ、今更おこがましいのですが、発想力を鍛えるために、自分と異なる考え方・価値観・ライフスタイルを持つ人との会話に積極的に

かかわる努力をしたいと思いますようになりました。

年齢や職業、業種や地位の異なる人と話す機会を逃さず、立場が異なる人と接することで、さまざまな経験を疑似体験でき、視野を広げることにつながると思うからです。また、視野を広げるという視点から言えば、時折旅行に出かけたり、芸術活動に没入するのも良いかもしれません。

アイディアは思わぬきっかけで、突然降ってくることがありますよね。

もしかしたら、「食堂でカレー食べていたら思いついた。」なんてこともあるかもしれません。



カレーライス

作詞：ともろぎゆきお
作曲：巖 隆

♩ = 114

C G C

にあん たか ま おじ じや が けい もら ふ
ムシヤ しおビヤ タコモ レク モク じお けい もら ふ
たじく にみて おこそ なしよ べうたら いち たれか めたらが
たじく りんご おこそ なしよ べうたら いち たれか めたらが

G7 C

く つい つま ま し
ほ りりも ききわい てき じょうりた

サークルおけら